

平成29年度府中市自立支援協議会  
就労支援部会中間報告

2017年9月13日

## 1、部会員氏名

No	氏名	選出母体および役職等
1	高橋 美佳	地域生活支援センターあけぼの 所長
2	近藤 優子	府中市福祉作業所等連絡協議会 わかまつ共同作業所 施設長
3	桑田 利重	地域生活支援センターみ～な センター長
4	石橋 直美	府中市パーキンソン病友の会 会長
5	吉井 康之	府中市社会福祉協議会 地域推進部地域活動推進課長補佐兼権利擁護課長補佐兼 まちづくり推進係長兼府中ボランティアセンター長
6	梅影 靖之	東京都立府中けやきの森学園 主任教諭
7	今野 ゆかり	府中公共職業安定所 専門援助部門 統括職業指導官
8	竹下 勝	東京都立府中療育センター 事務次長
9	早田 紀子	多摩府中保健所 課長代理

部会長 副部会長

## 2、検討内容

市内の就労支援について課題を整理し、ハローワークや庁内実習実績、関係機関からの意見等を得ながら議論を進め、就労を長く継続するためにより良い方法を、課題や背景を基に意見を集約します。

## 3、会議報告

第1回会議 日時 平成29年5月31日(水)10:00～11:40 出席委員8名

\*就労支援センターみ～なについての現状報告と問題提起をしてもらう。登録者は毎年増え続けており(登録者約300人)、み～なの今の職員数では支援をしていくことが難しい状況となってきた。職場訪問を行っているため、職員不在が続くことが多い。

\*企業の障害者雇用率が来年度から2.0%から2.2%へ引き上げられ、精神障害者も雇用率にカウントされることになる。障害者本人への支援だけでなく、企業への障害者理解の働きかけも必要となることから、障害者への就労支援への需要が増大していく。

以上の現状を踏まえ、就労支援センターがもう1ヵ所駅の近くにできるといいのではないか、市民や企業への障害者雇用の啓発を行ってはどうかなどの意見が出された。

**第2回会議** 日時 平成29年7月6日(木) 10:00~12:00 出席委員8名

\*「府中市障害者就労支援ガイドブック」、「平成29年度第1回東京都障害者就労支援関係機関意見交換会資料」について説明をしてもらう。

\*東京都によるチャレンジ雇用やトライアル雇用等の障害者雇用についての説明をってもらう。

\*就労定着に向けた問題点や課題を具体的に出し合い、どのような支援が必要なのか意見交換を行う。

障害者が就労定着するためには、本人への支援と、障害者や障害の特性の理解、障害者雇用の開拓、職場環境の整備など企業への働きかけが必要である。

**第3回会議** 日時 平成29年9月8日(金) 10:00~12:00 出席委員6名

\*「ハローワーク府中における障害者の職業紹介状況」について説明をってもらう。精神障害者が5割。府中市は特別支援学校が2校あるので障害者も多い。

\*企業の開拓、企業への支援はハローワーク等が行う。

\*障害者が就労する際に支援者をつけて企業と連携することで、障害者への理解も深まり、虐待なども減り、定着率も上がっていく。社会の中で役に立っていることが実感できて、生き生きと生活していくことができるのではないかと。しかし支援機関につなぎたくても支援機関が一杯な状況。つながってもきめ細かな支援ができない。就労支援センターを増設していくことで、障害者が社会の中で安心して働いていく環境を提供していく必要がある。現在の就労支援センターみ～なは、仕事帰りなどにちょっと寄るには駅から遠すぎるので、駅に近いところで終業後の時間帯も開所していることが望ましいのではないかと等の意見が出された。

\*障害者の中には、登録はするが支援機関と繋がることを避けたり、支援機関の職員と十分な面接をせず根本となる原因を見つける前に、焦りから就職し、再び離職するケースがある。

#### 4、今後の就労支援部会

\*10月13日(金)、11月30日(木)に開催予定。

#### 5、添付資料

\*「障害者の就労支援について」